※令和４年度以降入学生用

学校番号	3037

令和５年度　理科

教科	理科	科目	生物基礎演習Ⅰ	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	生物基礎（第一学習社）						
副教材等	新課程版　セミナー生物基礎(第一学習社)、 ニューステージ新生物図表(浜島書店)						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「生物とは何か？」この問いにあなたはどのように答えますか？皆さんが学習する「生物基礎」の授業では，すべての生物が共通して持っている性質（共通性）と，生物の種によって異なる，非常に多彩で豊かな性質（多様性）について，その基礎となる知見を学びます。

　生物とは何か、人間とは何か、という疑問を解くための考え方や方法を演習ととおしてさらに深めていきましょう。

２　学習の到達目標

生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行うことなどを通して、科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

（１）　生物学における基本的な概念、原理・法則などについて系統的な理解を深め、科学的に探究するために必要な知識や技能を身につけるようにする。

（２）　生物や生物現象に関して、観察・実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

（３）　自然に対する関心を高め、事物・現象を科学的に探究しようとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見いだし、探究する課程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象の関係に関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の共通性と多様性を常に意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	生物の特徴	生物の特徴・遺伝子とその働き	a:「生物と遺伝子」に関する探究活動を行い、生物学的に探究する方法を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解し、知識を身に付けている。ＤＮＡの情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解し、知識を身に付けている。 b: 体細胞分裂の前後で遺伝情報の同一性が保たれていることを考察し、導き出した考えを表現している。 c: 生物の多様性と共通性、遺伝現象とＤＮＡに関心を持ち、意欲的に探究しようとする	定期考査	定期考査	実験レポート レポート課題
2学期	ヒトのからだの調節	ヒトのからだの調節・免疫	a: 体内環境の維持に自律神経とホルモンが関わっていることを理解し、知識を身に付けている。「生物の体内環境の維持」に関する探究活動を行い、生物学的に探究する方法を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 b: 病原菌などの異物を認識、排除して体内環境を保つ仕組みを考察し、導き出した考えを表現している。 c: 体内環境について関心をもち、意欲的に探究しようとする。	定期考査	定期考査	実験レポート レポート課題
3学期	生物の多様性と生態系	植生と遷移・生態系とその保全	a: 陸上には様々な植生がみられ、植生は長期的に移り変わっていくことを理解し、知識を身に付けている。生態系と物質循環について観察、実験、資料収集などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 b: 「生物の多様性と生態系」に関する探究活動を行い、事象や結果を考察し、導き出した考えを表現している。 c: 気候とバイオーム、生態系のバランスについて関心をもち、意欲的に探究しようとする。	定期考査	定期考査	実験レポート レポート課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度